

口は健康のもと Vol.125

口腔インプラントをご存じですか？ ～利点多いが理解不足でトラブルも～

虫歯や歯周病、外傷等によって歯を失った場合の治療として、その数が少ないのであれば、両脇の歯を削り、失った歯の部分を含めて一塊として被せる「ブリッジ」が行われます。また、多数の歯を失った場合は、取り外し式の「部分入れ歯」による治療が行われてきました。近年、これらの二つに加えて「口腔インプラント」という治療が広く行われるようになってきました。

口腔インプラントとは、歯を失った部分の顎の骨の中に、金属製やセラミック製の人工の歯根を埋め、これを土台としてクラウンなどを被せる治療です。口腔インプラント治療では、ブリッジのように両脇の歯を削る必要がありません。また、多くの場合には口腔インプラントは固定式であるため、部分入れ歯のように取り外す手間がいらず、しっかり噛むことができます。

このような優れた面をもつ治療法ですが、最近テレビや新聞等で取り上げられているように、口腔インプラント治療によるトラブルもみられるようになりました。トラブルを避けるためには、十分に理解したうえで治療を受けることが大切です。今回は口腔インプラントの特徴についてご説明いたします。



奥羽大学歯学部附属病院
総合歯科 講師 関根 貴仁

